今和6年度 東黎東学評価事 (**今和**5年度宝结

<u> </u>	相	6年	度 事務事	詳評価表	令和5年度	美 績)			
事	务事	業名	まちなか共和	割センター運営事業	費			担当所属 中	心市街地活性	化推進課
基	分	野	7生活基盤				事業期間	令和5年/	芰 ∼	
本情	基	本施策	3 都市拠点等	の形成			会計種別			
報	推	進施策	1 中心市街地	の拠点性の向上			実施計画		総合戦略	
	ý	対 象	●徳山駅周辺の公	〉共施設及び大学利用者等		•				
			●市民と周南公立	大学をつなぐ窓口と徳山駅	司辺の公共施設を管理 の	፱営する窓□	コを年中無休で開	設することで利用す	当の利便性向上 を	を図るとともに、市
事業		意 図	を含む三者で連携	して、中心市街地の活性化	を図る。					
概			●中心市街地のジ	で流人口の増加や活性化						
要	j:	龙 果								
			●周南公立大学!	ナテライトオフィスと徳山駅周辺	辺施設管理オフィスの 2 つ	のオフィス機	能を有する「まちた	なか共創センター」を	で運営し、学生など	での交流、駅前広
	-	手 段	場等の利用やイベ	ントの相談・打合せ、情報発	信などを行う。					
				指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込
指			中心市待地 5億	がいた。 動所における歩行者等通	行 目標値	人	0	0	13000	13000
標	活	動指標 量(H31まで			実績値	人	0	0	9225	-
				10. 2 1 11/1/	目標達成度	%	 -	-	71.0	-
				令和2年度決算	令和3年度決算	令和 4	4年度 決算	令和5年度	決算 令和	6年度予算
	 -	-タルコン		0	0		0		,232	7,756
		事業費		0	0		0		689	1,213
			国庫支出金	0	0		0		0	0
		الحا	県支出金	0	0		0		0	0
⊐		財	地方債	0	0		0		0	0
ス		源	受益者負担	0	0		0		0	0
ト		//ぶ	その他	0	0		0		0	0
			设財源	0	0		0		689	1,213
		人件費		0	0		0		,543	6,543
		正聯		0	0		0	6	,543	6,543
			战員以外	0	0		0		0	0
			事業費集計済分)	(0)	(0))	(0)	_	(0)	(0)
		哉員 **= \\ <i>I</i>	(人)	0.00	0.00		0.00		.90	0.90
員	ĺ	哉員以外	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0.00	0.00		0.00	0	.00	0.00
			引辺環境	- c÷\	- 144 /- tm /== 244 == 244 es 1 4					
		·周南公立大学開学(令和4年度) ·徳川駅周辺官民連携管理運営事業開始								

·周南公立大学開学(令和4年度) ·徳山駅周辺官民連携管理運営事業開始

現状の周辺環境

再開発施設のテナントのオープンが進んでいる。

変 化 等

境

今後の予想される周辺環境

・再開発施設のオープンにより、駅前に住む人、働く人、憩う人の増加や新たな人流が見込まれる。

		評価項目	評価	評価の理由				
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	В	駅前広場等の利用者の利便性向上や利活用の推進、大学生を含む若者の交流人口の増加				
	当島	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	に繋がるなど、中心市街地の活性化に資する事業である。活動指標は、まちづくり総合計画の 指標でもあり、妥当である。				
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	付待にものが、女当にのる。				
	_	4. 計画の実施状況	Α	再開発事業に関連する工事の影響等による人流の変化もあり、歩行者等通行量は前年度を				
	対	有		下回ったが、上回っている地点も複数あった。駅前広場の利活用の増加や、徳山駅周辺施設 管理オフィスの構成企業であるCCCと大学の連携が進むなどの効果があった。				
評	性	6. 上位施策への貢献度	В	官珪オノイ人の構成正素でめるしてして人子の建충が進むなどの効素がめった。 				
価		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В					
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	В	施設の周知を含め、より効果的・効率的な事業が実施できるよう改善を図りながら三者で連携				
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	して取り組む。				
	性	10. これまでの実施手段	В					
	総	駅前周辺の公共空間の利活用の促進や、大	学生など若	者の交流人口の増加にも繋がるなど、中心市街地の活性化に寄与する事業であり継続的に進				

В 評

める必要がある。

	今後の実施方向性	維持
t t	成果方向性	成果上昇
~ 直	コスト方向性	コスト維持

中心市街地の活性化により資する事業となるよう、改善等を図りながら進めていく。

案 改革効果(どのような効果が期待できるか)

中心市街地の活性化に繋がる。

ُرل ِ	加	61	干烷	5 事務事	業評価表	令和5年	及夫的	貝)				
事	务事	事業	名	再開発推過	進事業費					担当所属	中心市街:	地活性	化推進課
基	分	} !	野	7生活基盤					事業期間	平成30年	₹度 ~	令和	5年度
本信	基	本施	策	3 都市拠点等	の形成				会計種別				
報	推	進施	策	1 中心市街地	の拠点性の向上				実施計画	該当	総合	戦略	該当
	ý	対 象	Ŕ	●対象地区:周雨	有市銀座及びみなみ銀座の	一部(徳山駅前地[⊻) •∄	施行区均	或面積:約1.2h	a			
事業													
概要													
	III.	手具	Σ.	●組合施行による 助金の交付等	第一種市街地再開発事業	、の支援・・既存	字建築物 的	解体、施	設建築物建築]	事等への社会	資本整備網	総合交付	金を活用した補
					指標名		単	位	R3年度実績	R4年度実績	R5年/	度実績	R6年度見込
指	:=	動指	425	事業進捗率		目標値	%	, 0	55.58	72.35	10	00	0
標	心	劉伯	尓		実績値	%	0	29.17	53.2	10	00	-	
					目標達成度	%	, 0	52.5	73.5	100	0.0	-	
				(単位:千円)	令和2年度決算	令和3年度決	算	令和 4	年度 決算	令和5年度	決算	令和	6年度予算
		-タル		.	637,543	160,7			729,851		4,978		0
		事業			626,095	152,2			721,204		4,800		0
		4		庫支出金	407,989	92,9			509,914	74	8,624		0
_			၂년	支出金	0	F2.5	0		0		0		0
_			ᆈᄮ	地方債	193,700	53,2			190,000	93	2,400		0
ス・			ᆲ	登益者負担	0		0		0		0		0
		Ľ		の他	0		0		0		0		0
				財源	24,406	6,0			21,290		3,776		0
		人們			11,448	8,5			8,647		0,178		0
			E職		11,448	8,5			8,647	1	0,178		0
		1		員以外	0		0		0		0		0
一	正日	 		業費集計済分) (人)	(0) 1.60	1.2	(0)		(0) 1.20		(0) 1.40		(0) 0.00
ヘ 員		職員.			0.00	0.0			0.00		0.00		0.00
7				辺環境	0.00	0.0	<u> </u>		0.00		5.00		0.00
					性化事業による成果への期待	レ燃運の宣せがに FD	₩二₩接	老を由心	シリた尺間による	この古谷地の市が	+1-1-1+1-1	全=ナポジニ1	つわ その世田り

駅周辺整備事業や中心市街地活性化事業による成果への期待と機運の高まりにより、地元地権者を中心とした民間による中心市街地の再生に向けた検討が行われ、その成果として徳山駅前地区市街地再開発準備組合により、商業機能の再生を柱とした徳山駅前地区市街地再開発基本計画が平成30年4月に本市に提出された。

現状の周辺環境

コスト方向性

改革効果(どのような効果が期待できるか)

革

境

変

化

等

令和元年6月:徳山駅前地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定 令和元年11月:徳山駅北口駅前広場供用開始 令和2年1月:第一種市街地再開発事業計画認可及び組合設立認可 令和4年9月:駅前棟オープン 令和5年11月:工事完了(住宅棟・商業棟等竣工)

今後の予想される周辺環境

令和6年4月:再開発施設グランドオープン 令和6年度~:一番街アーケード撤去・市道リニューアル工事

			評価項目		評価	評価の理由					
	双	1. 市の関与	手(税金支出)		Α	中心市街地の再生と賑わい創出に寄与する事業であり、土地の高度利用による固定資産税					
	妥当 性	2. 事務事	業の目的(対象・意図)		Α	の増収等が見込まれていることからも、妥当である。活動指標は事業の進捗状況を表す指標で あり、妥当である。					
	3. 事務事		業の目標(活動指標等)		Α	め が、安当 に める。					
	_	4. 計画の	尾施状況		Α	令和5年11月に施設建築物建築工事が完了し目標は達成したが、一部テナントの入居が済					
		有 5. 目標(活動指標等)の達成度 効 6. 上位施策への貢献度			Α	んでいないことや周辺道路の管理等について、課題が残っており、課題解消に向けて事業者と 連携して取り組む。					
評					В	足がり信む。					
価	平性	7. 事業成	果の向上へのさらなる取組	み	В						
	効	8. コスト削		Α	再開発施設は竣工したため、コスト削減の余地はない。本事業は、地元地権者からなる組合						
	率	9. 類似事	業との統合·代替の検討		Α	が行なう再開発事業への支援としての補助事業であり、民有地で構成される既成市街地の再 開発手法としては、最も最適な手段である。					
	性	10. これま	での実施手段		Α	用光子広としては、取り取過な子及でのる。					
	総					共事業が契機となり、地権者自らが中心市街地再生に向けて取り組む大変意義のある事業で					
	合	D $b_{a}^{b_{a}}$	本事業を契機として、中心市行	封地の回遊性	生の向上か	や活性化に継続して取り組む必要がある。					
	評価										
	-	の実施方向性	 廃止•休止	徳山駅前地	也区第一	種市街地再開発事業は令和5年度で終了。					
247	成果	方向性									

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

	<u> </u>	中	文 学物学	来評価衣 (市和5年	反天限	<u>) </u>				
事	務事	業名	中心市街	也活性化一般事務費	Ì			担当所属中	心市街地活性	化推進課	
基	分	野	7生活基盤				事業期間	-	~		
本情	基	本施策	3 都市拠点等	の形成			会計種別				
報	推	進施策	1 中心市街地	の拠点性の向上			実施計画		総合戦略		
			●徳山駅南北自E	由通路•徳山駅北口駅前広場	易・徳山駅南口駅前						
	文	寸象									
			●徳山駅周辺の2	公共空間、公共施設の利活用]を推進し、中心市行	封地の活性化を	図る。 ●対象施	設を適正管理する	ることにより、駅周に	ロエリア価値及び	
事業	意	意図	市民等の利便性的	可上を図る。							
概 ● 中心市街地の活性化 ● 駅周辺利用者の利便性向上 要 成果											
	7	F 段	●徳山駅南北自日 理	由通路、徳山駅北口駅前広5	易、徳山駅南口駅的	前広場の修繕及	び維持管理(指)	定管理業務外)	●コンビナート電	力設備維持管	
				指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
指	*	動指標	中心市街地5億	箇所における歩行者等通行	目標値	人	12400	12400	13000	13000	
標	/01	量(H31までは14箇所)			実績値	人	11523	11024	9225	-	
					目標達成度	%	92.9	88.9	71.0	-	
			(単位:千円)	令和2年度決算	令和3年度決	算 令和4	年度 決算	令和5年度	決算 令和	6年度 予算	
	_	タルコス		35,676	36,4	139	40,268	19	9,238	21,216	
		事業費		24,759	29,9	987	29,459	11	1,604	13,582	
		175	国庫支出金	0		0	0		0		
		ايا	県支出金	0		0	0		0	0	
			地方債	0		0	0		0	0	
ス		源!	受益者負担	254		266	301		243	255	
 			その他	5,205	6,5		6,671		7,649	7,479	
			设財源	19,300	23,1		22,487		3,712	5,848	
	ŀ	人件費		10,917	6,4		10,809		7,634	7,634	
		正職		10,017	5,6		10,809	7	7,634	7,634	
		_	は	900		770	0		0	0	
	. T III		業費集計済分)	(0)		(0)	(0)		(0)	(0) 1.05	
	正耶		(人)	1.40	0.8	U	1.50	1	.05	1 05	
	T FI	4111日半	M (I)	0.00	0.0		0.00	^	100		
		銭員以外	ト (人) 周辺環境	0.90	0.8		0.00	0	0.00	0.00	

徳山駅周辺は歩行空間が狭隘な上、バリアフリーも未対応。

現状の周辺環境

境

変

化

徳山駅北口駅前広場等の完成により、交通結節機能が強化され駅利用者等の利便性が向上するとともに、徳山駅周辺官民連携管理運営事業による民間ノウハウを活用した管理運営を開始し、利活用が促進した。また、新たな賑わいの核となる再開発施設(徳山デッキ)が完成した。

今後の予想される周辺環境

再開発施設のオープンにより、駅前に住む人、働く人、憩う人の増加や新たな人流が見込まれる。

		評価項目	評価	評価の理由				
	妥[公共施設の適切な維持管理により利用者の安心・安全・利便性が確保される。イベントやマル				
	当品	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	シェなど、市民の交流の場としても積極的に活用されており、中心市街地の活性化に資する事業である。 指標は、まちづくり総合計画の指標でもあり、 妥当である。				
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	未じめる。 拍信は、ようノバル心口計画の指信にもめり、女当にめる。				
		4. 計画の実施状況	Α	徳山駅周辺官民連携管理運営事業の導入により、駅周辺の公共施設の利活用が促進し、				
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	С	中心市街地の賑わいの創出に貢献できた。再開発事業に関連する工事の影響等による人流 の変化もあり、歩行者等通行量は前年度を下回ったが、上回っている地点も複数あった。引続				
評	性	6. 上位施策への貢献度	В	1の変化もあり、多行有寺通行重は削年度を下凹つだが、上凹つている地点も複数のつだ。51続き公共施設、公共空間の利活用を図ることで事業成果がさらに向上すると考える。				
価		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В					
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	В	徳山駅周辺官民連携管理運営事業の導入による、北口駅前広場等の包括的な管理運営				
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	や民間ノウハウの活用により事業の効率化を図った。老朽化の進行による修繕箇所の増加や 物価高騰の影響があるが、引き続きコスト削減等に取り組む。				
	性	10. これまでの実施手段	В	7½				
	総	徳山駅南北自由通路や駅前広場は、交通網	節点である	5一方、市の玄関口として情報発信、賑わい・交流の場でもあるので、安心・安全に配慮しつつ、				

合 評 B | 徳山駅南北自由通路や駅前広場は、交通結節点である一方、市の玄関口として情報発信、賑わい・交流の場でもあるので、安心・安全に配慮しつつ、 | 公共空間及び公共施設の利活用をさらに推進する必要がある。

	今後の実施方向性	維持	引続き徳山駅周辺の公共施設を官民が連携して管理運営し、維持管理費の縮減や公共空間・公共施設の利活
<u>1</u> /5	成果方向性	成果維持	用を推進する。
へ 某	コスト方向性	コスト維持	

案 改革効果(どのような効果が期待できるか)

民間のノウハウが活用され、コスト縮減やより市民ニーズに合致した施設運営、利活用が期待できる。

la,	ТН	+	文 子勿子	未计测仪(サ化り井	汉大帜							
事	务事	業名	中心市街	也活性化事業費				担当所属中	心市街地活性	化推進課			
基	分	野	7生活基盤				事業期間		~				
本情	基:	本施策	3 都市拠点等	の形成			会計種別						
報	推	進施策	1 中心市街地	の拠点性の向上			実施計画		総合戦略	該当			
	文	寸象	●第2期中心市征	封地活性化基本計画区域									
事業	Ę	意図	●中心市街地の活性化										
概要	Б	以果	●中心市街地の流	5性化									
	甲	手段	●徳山駅前賑わい交流施設、徳山駅北口駅前広場等を生かした活性化事業 ●テナントミックス推進事業(空き店舗対策・新規出店促進) ● タウンマネジメントや賑わい創出に係る人材育成・組織体制強化ほか										
				指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込			
指	2=2:	针铅锤	中心市街地5億	箇所における歩行者等通	行 目標値	人	12400	12400	13000	13000			
標	冶	動指標 量(H 3 1まで		は14箇所)	実績値	人	11523	11024	9225	-			
					目標達成度	%	92.9	88.9	71.0	-			
			(単位:千円)	令和2年度決算	令和3年度決	算 令和	4年度決算	令和5年度	決算 令和	6年度予算			
		タルコ		79,829	85,2	17	92,359	125	5,173	121,047			
		事業費		66,850	68,7		78,668		5,908	104,689			
			国庫支出金	1,760	5,8	310	7,395	ϵ	5,058	2,100			
		الصا	県支出金	0		0	0		0				
J		la-∔l-	地方債	0	2,1	.00	0		0	0			
ス		源	受益者負担	1,465	7	'69	1,390	1	1,390	1,390			
۲		小水	その他	0		0	0		0	0			
		一角	殳財源	63,625	60,1	.02	69,883	98	3,460	101,199			
		人件費		12,979	16,4	36	13,691	19	9,265	16,358			
		正和		12,879	16,3	37	13,691	19	9,265	16,358			
			識員以外	100		99	0		0	0			
			事業費集計済分)	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)			
	正期		(人)	1.80	2.3		1.90		2.65	2.25			
員	正期	戲員以外	外 (人)	0.10	0.1	0	0.00	0	0.00	0.00			
	開如	台時の原	司辺環境										
		_											

平成22年に、まちづくり会社「(株)まちあい徳山」、中心市街地活性化協議会が設立。その後、平成25年3月に第1期中心市街地活性化基本計画が認定され、公民が連携して活性化に向けて取り組んできた。

現状の周辺環境

第2期中心市街地活性化基本計画に基づき、公民が連携して中心市街地の活性化に向けて取り組んでいる。

変化等

境

今後の予想される周辺環境

再開発施設のオープンにより、駅前に住む人、働く人、憩う人の増加や新たな人流が見込まれる。

		評価項目	評価	評価の理由					
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	Α	自治体経営において中心市街地の活性化は重要であり、市の関与は妥当である。第2期中					
	当的性	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	心市街地活性化基本計画に基づき、公民が連携して中心市街地の活性化を図ることで、コン パクトシティの実現が図られる。指標は、立地適正化計画の指標でもあり、妥当である。					
		3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	ハクトンナイの夫児が囚りれる。 指標は、立地廻近化計画の指標とものり、女当とのる。					
	_	4. 計画の実施状況		本事業は第2期中心市街地活性化基本計画に従って実施できている。再開発事業の影響					
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度		等による人流の変化もあり、歩行者等通行量は前年度を下回ったが、上回っている地点も複数あった。また、賑わい交流施設の累計入館者数は1000万人を超え、駅前の賑わいに大きく					
評	性	6. 上位施策への貢献度	D	致めつに。また、賑れい父流施設の案計入毘看致は1000万人を超え、駅前の賑れいに入さ 寄与している。 今後は、駅前の賑わいを中心市街地全体に波及させる取組みが必要である。					
価		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В						
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み		徳山駅周辺官民連携管理運営事業を導入し、北口駅前広場等の包括的な管理運営や民					
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	間ノウハウの活用による事業の効率化を図った。					
	性	10. これまでの実施手段	В						
	総	中心市街地活性化は、継続的に取り組むべき	課題であり	、第2期中心市街地活性化基本計画に基づき、公民が連携して活性化に資する事業を進め					
	合	ていく必要がある。							

合評

	今後の実施方向性	維持
,	成果方向性	成果維持
i	コスト方向性	コスト維持

第2期中心市街地活性化基本計画に従って賑わい創出や回遊性強化に向けた事業の進捗を図る。

改艺

改革効果(どのような効果が期待できるか)

中心市街地のエリア価値が高まり、中心市街地の活性化や街なかの回遊性向上につながる。

今和6年度 東黎東学郭馮丰 (**今和**5年度宝结

令	和6	牛	支 事務事	業評価表 (令和5年	又大帜)					
事	務事業	業名	中心市街均	也環境整備事業費					担当所属	中心市街	地活性	化推進課	
基	分	野	7生活基盤					事業期間	令和4年	度 ~			
本情	基本抗	施策	3 都市拠点等	の形成			,	会計種別					
報	推進加	施策	1 中心市街地	の拠点性の向上				実施計画	該当	総合	戦略		
	対:	象	, = , = .	Dアーケード設置市道				•					
事業	意	図	●歩行空間の回遊性・快適性の向上										
概													
	手。	段	●アーケード撤去す	を援及び撤去後の市道整備									
				指標名		単位		R3年度実績	R4年度実績	-		R6年度見込	
指			ᆸᆂᄺᅫᆔᇀᅂ										
	活動排	沿浬		箇所における歩行者等通		人		0	12400		000	13000	
標	活動抗	沿浬	中心中街地5世量(H31まで		実績値	人 人		0	11024		000 225	13000	
	活動拍	指標	量(H31まで	は14箇所)	実績値 目標達成度	人		0	11024 88.9	92	225	-	
		指標	量(H 3 1まで (単位:千円)	は14箇所) 令和2年度 決算	実績値	人 % 算 令	和4:	0 - 年度 決算	11024 88.9 令和5年 度	92 71 決算	225	- - 6年度 予算	
	トータル	出標	量(H 3 1まで (単位:千円)	は14箇所) 令和2年度決算 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令	和4:	0 - 年度 決算 74,865	11024 88.9 令和5年度	92 71 決算 9,064	225	- - 6年度 予算 29,281	
	トータル	ルコス業費	量(H 3 1まで (単位:千円) ト	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 0	和4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541	11024 88.9 令和5年度 3	92 71 決算 9,064 6,156	225	- 6年度予算 29,281 27,100	
	トータル	ルコス業費	量(H31まで (単位:千円) ト 国庫支出金	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 0 0 0	和4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541 34,258	11024 88.9 令和5年度 3	92 71 決算 9,064 6,156 0,835	225	- 6 年度予算 29,281 27,100 13,550	
標	トータ	おおります。	量(H31まで (単位:千円) ト ト は は	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 : 0 0 0	和4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541 34,258 0	11024 88.9 令和5年度 3	92 71 決算 9,064 6,156 0,835 0	225	- 6 年度予算 29,281 27,100 13,550 0	
標	トータ	指標・ルン費・特定財産・サース・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー・フリー	量(H31まで (単位:千円) ト 	は14箇所) 令和2年度決算 0 0 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 0 0 0 0 0	和4:	0 - 年度決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600	11024 88.9 令和5年度 3	92 71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100	
標って	トータ	は、「おおりでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	量(H31まで (単位:千円) ト 。 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「内 「 「内 「 「内 「 「 「 「 「 「 「 「	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 0 0 0 0 0 0	和4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600	11024 88.9 令和5年度 3	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800	225	- 6 年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100	
標	トータ	はは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	量(H31まで (単位:千円) ト 国庫支出金 製支出金 也方債 受益者負担 この他	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 0 0 0 0 0 0 0	和 4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0	11024 88.9 令和5年度 3 3 2	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0	
標って	トータ/ 事	はは、大学を対象を表現である。	量(H31まで (単位:千円) ト 国庫支出金 表支出金 也方債 受益者負担 この他 は財源	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 0 0 0 0 0 0 0 0	和4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0 0	11024 88.9 令和 5 年度 3 3 2	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0 0	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0 0	
標っている。	ト-タ/ 事:	はは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	量(H31まで (単位:千円) ト 国庫支出金 現支出金 也方債 受益者負担 その他 財源 会計	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度	人 % 算 令 0 0 0 0 0 0 0	和4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0	11024 88.9 令和 5 年度 3 3 2	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0	
標っている。	事	はは、「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	量(H31まで (単位:千円) ト 国庫支出金 現支出金 也方債 受益者負担 その他 財源 会計	は14箇所) 令和2年度決算 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	実績値 目標達成度	人 % (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	和4:	0 - 年度 決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0 0 10,683 4,324	11024 88.9 令和 5 年度 3 3 2	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0 0 1,521 2,908	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0 0 10,450 2,181	
標コスト	ト- <i>タ)</i> 事	は、「は、「は、これ」は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、これ」は、「は、これ」は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、これ」は、これ」は、これ」は、これ」は、これ」は、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	量(H31まで (単位:千円) ト 国庫支出金 表支出金 也方債 受益者負担 この他 財源 合計 過員以外 業費集計済分)	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度 令和3年度決	人 % (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	和4:	0 - 年度決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0 0 10,683 4,324 4,324 0 (0)	11024 88.9 令和5年度 3 3 1	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0 0 1,521 2,908 2,908 0 (0)	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0 0 10,450 2,181 2,181 0 (0)	
標コスト人	トータ/ 事	はは、「は、「は、これ」は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、「は、これ」は、これ」は、これ」は、これ」は、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	量(H 3 1まで (単位:千円) ト 国庫支出金 型方債 受益者負担 この他 財源 会計 過員 員以外 業費集計済分) (人)	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度 令和3年度決	人 % (0) (0) (0) (0) (0) (0)	和4:	0 - 年度決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0 0 10,683 4,324 4,324 0 (0)	11024 88.9 令和 5 年度 3 3 1	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0 0 1,521 2,908 2,908 0 (0)	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0 0 10,450 2,181 2,181 0 (0)	
標コスト人	トータ/ 事	はは、「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	量(H31まで (単位:千円) ト 国庫支出金 製支出金 地方債 受益者負担 その他 (財源 会計 議員 議員以外 業費集計済分) (人)	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度 令和3年度決	人 % (0) (0) (0) (0) (0) (0)	和4:	0 - 年度決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0 0 10,683 4,324 4,324 0 (0)	11024 88.9 令和 5 年度 3 3 1	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0 0 1,521 2,908 2,908 0 (0)	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0 0 10,450 2,181 2,181 0 (0)	
標コスト人	トータ/ 事 人 正職 開始	は、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一	量(H 3 1まで (単位:千円) ト 国庫支出金 地方債 受益者負担 他の他 は財源 会計 過員 過員以外 業費集計済分) (人)	は14箇所) 令和2年度決算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度 令和3年度決 0.0 0.0	人 % 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	和4:	0 - 年度決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0 0 10,683 4,324 4,324 0 (0)	11024 88.9 令和 5 年度 3 3 1	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0 0 1,521 2,908 2,908 0 (0)	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0 0 10,450 2,181 2,181 0 (0)	
標コスト人	トータ/ 事 人 正職 開始	は、「おおりない」とは、「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	量(H 3 1まで (単位:千円) ト 国庫支出金 地方債 受益者負担 他の他 は財源 会計 過員 過員以外 業費集計済分) (人)	は14箇所) 令和2年度 決算 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績値 目標達成度 令和3年度決 0.0 0.0	人 % 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	和4:	0 - 年度決算 74,865 70,541 34,258 0 25,600 0 0 10,683 4,324 4,324 0 (0)	11024 88.9 令和 5 年度 3 3 1	71 決算 9,064 6,156 0,835 0 3,800 0 0 1,521 2,908 2,908 0 (0)	225	- 6年度予算 29,281 27,100 13,550 0 3,100 0 0 10,450 2,181 2,181 0 (0)	

現状の周辺環境

令和4年度:新町アーケード撤去及び市道リニューアル完了 令和5年度:みなみ銀座通アーケード撤去及び市道リニューアル完了

化 等

変

今後の予想される周辺環境

令和6年度~:一番街アーケード撤去及び市道リニューアル

	ļ					
評価	評価項目		評価	評価の理由		
	妥当性	1. 市の関与(税金支出)	В	安心・安全な歩行空間の確保及び商業の振興を図ることで、中心市街地の健全な発展に寄		
		2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	「与することが期待される。指標は立地適正化計画の指標でもあり、妥当である。		
		3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α			
	有効性	4. 計画の実施状況	В	関係者との調整に時間を要し実施設計には進めなかったが、社会実験の実施等によりアーケー		
		5. 目標(活動指標等)の達成度	С	ド撤去に向けて地元の合意が進み、基本設計を完了した。 		
		6. 上位施策への貢献度	В			
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組	lみ B			
	効 率 性	8. コスト削減へのさらなる取組み	В	アーケードの老朽化対策は商店街の課題の一つであり、大事故が起きる前に商店街組合等を		
		9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	】財政支援し、アーケード撤去を進めることは、課題を早期解決する手段として最適である。 		
		10. これまでの実施手段	Α			
	総	### ### ### #########################				
	合					
	評					
	価					

	今後の実施方向性	維持
改	成果方向性	成果維持
革	コスト方向性	コスト維持

引続き老朽化した商店街のアーケード撤去支援及び撤去後の市道リニューアルを実施することで、安全確保や利便 性、回遊性の向上につなげていく。

案 改革効果(どのような効果が期待できるか)

街なかの回遊性の向上等を図ることで、中心市街地の活性化につながる。